

## 子育てと並行し農業に従事

〈山梨・中央市 一之瀬まゆみさん〉

やまなし農業女子、将来は食育も



野菜・水稲を栽培する一之瀬さん夫妻

【山梨】中央市でトマト、トウモロコシ、ナスなどの野菜と水稲を家族で経営しているマルヨシ園芸の一之瀬まゆみさん（40）。まゆみさんは、会社に勤務していたが、義父から直売所のレジ打ちを手伝ってほしいと誘われたことがきっかけと

なり、農業に携わることになった。

子育てと並行しながら少しずつ作業の幅を広げ、今では一通りの作業ができるようになった。夫の芳貴さん（43）は「丁寧な作業に加え、女性目線でのパッケージングなどのアイデアが参考

になる」と感心する。農業の知識を深め、女性同士のつながりを広げたいと「やまなし農業女子」に参加。会員たちの経営の工夫などを知ることができ、刺激を受けているという。



@MARUYOSHIENGEI

次元コード参照。

まゆみさんは「地域の子どもたちを対象に栽培方法などの食育活動もしてみたい」と今後の目標を語った。

東日本版

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS  
全国農業新聞

2025年(令和7年)

7月25日 金曜日  
月4回金曜日発行